

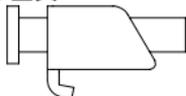
PS-3650A/PS-3651A シリーズ 取扱説明書

お願い

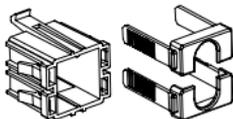
ご使用前に必ず、別紙の「安全に関する使用上の注意」をお読みください。

梱包内容

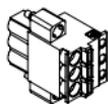
- (1) PS-A 本体 1台
- (2) 取扱説明書日英 各1冊(本書)
- (3) 安全に関する使用上の注意 1冊
- (4) 防滴パッキン 1個(本体装着)
- (5) 取り付け金具 4個1組



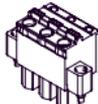
- (6) USBホルダー 2セット



- (7) 電源プラグ1個



AC電源タイプ
(5.08mmピッチ)



DC電源タイプ
(7.62mmピッチ)

重要

- ハードディスク組込みタイプは、取り扱いに注意してください。

品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいませうお願いいたします。

オプション品組み込み出荷の場合、オプション品の取扱説明書も入っています。各オプション品の取扱説明書に記載の梱包内容も合わせて確認してください。

マニュアルについて

PS-Aに関する詳細な情報は以下のPDFマニュアルを参照してください。

- PS-3650A/PS-3651Aシリーズハードウェアマニュアル
- PS-3650A/PS-3651Aシリーズリファレンスマニュアル
- PS-3650A/PS-3651AシリーズAPIリファレンスマニュアル

(株) デジタルホームページからダウンロードしてご覧ください。

ホームページアドレス
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

MEMO

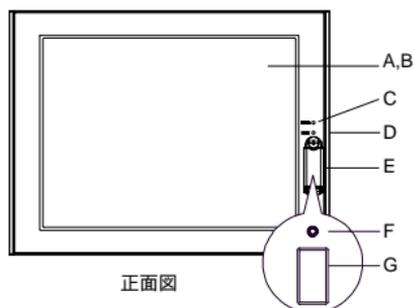
- PS-A用ドライバ、ユーティリティもダウンロードできます。

この取扱説明書は、以下の機種を対象としています。

- PS3650A-T42
- PS3650A-T42-24V
- PS3651A-T42
- PS3651A-T42-24V
- PS3650A-T42S
- PS3650A-T42S-24V
- PS3651A-T42S
- PS3651A-T42S-24V

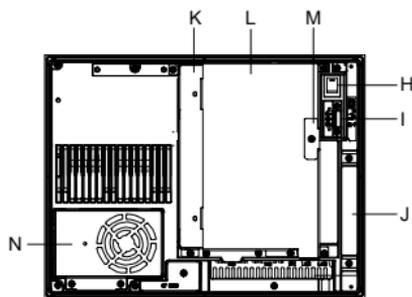
上記以外のPS-3650A/PS-3651Aシリーズについては、該当のマニュアル、取扱説明書をご覧ください。

各部名称

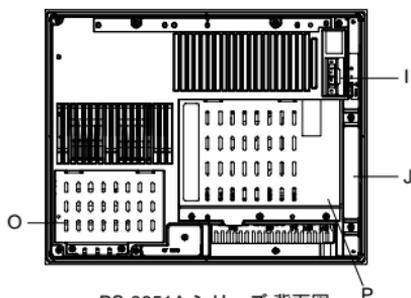


正面図

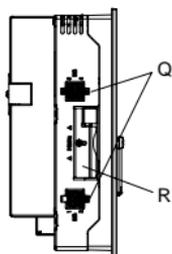
	名称	説明												
A	表示部	表示出力部												
B	タッチパネル	画面をタッチすることにより操作入力が行えます。												
C	電源 LED ステータスランプ (POWER)	<p>本体の通電状態や動作状態を表示します。表示色と表示内容は以下の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>LED</th> <th>PS-A の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑色点灯</td> <td>通常運転時 (通電時)</td> </tr> <tr> <td>緑色点滅</td> <td>システム停止状態 (ソフトOFF)</td> </tr> <tr> <td>橙色点灯</td> <td>システムモニタエラー</td> </tr> <tr> <td>橙 / 赤色点滅</td> <td>バックライト異常</td> </tr> <tr> <td>消灯</td> <td>無通電時</td> </tr> </tbody> </table>	LED	PS-A の状態	緑色点灯	通常運転時 (通電時)	緑色点滅	システム停止状態 (ソフトOFF)	橙色点灯	システムモニタエラー	橙 / 赤色点滅	バックライト異常	消灯	無通電時
LED	PS-A の状態													
緑色点灯	通常運転時 (通電時)													
緑色点滅	システム停止状態 (ソフトOFF)													
橙色点灯	システムモニタエラー													
橙 / 赤色点滅	バックライト異常													
消灯	無通電時													
D	DISK アクセスランプ (DISK)	<p>DISK アクセス状況とバッテリー駆動時の動作状態を表示します。表示色と表示内容は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>LED</th> <th>PS-A の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑色点灯</td> <td>HDD または IDE アクセス中</td> </tr> <tr> <td>消灯</td> <td>HDD または IDE アクセス停止中</td> </tr> <tr> <td>橙色点灯</td> <td>バッテリー駆動でシステム動作中</td> </tr> <tr> <td>赤色点灯</td> <td>バッテリー駆動でスタンバイ状態</td> </tr> </tbody> </table>	LED	PS-A の状態	緑色点灯	HDD または IDE アクセス中	消灯	HDD または IDE アクセス停止中	橙色点灯	バッテリー駆動でシステム動作中	赤色点灯	バッテリー駆動でスタンバイ状態		
LED	PS-A の状態													
緑色点灯	HDD または IDE アクセス中													
消灯	HDD または IDE アクセス停止中													
橙色点灯	バッテリー駆動でシステム動作中													
赤色点灯	バッテリー駆動でスタンバイ状態													
E	フロントカバー	-												
F	ハードウェアリセットスイッチ (RESET)	本体再起動用												
G	フロント USB インターフェイス (USB)	<p>1 ポート。USB 1.1 対応。コネクタは TYPE-A 使用</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>電源電流</td> <td>DC5V ± 5%</td> </tr> <tr> <td>出力電流</td> <td>最大 500mA (各ポート / 5 ポート合計)</td> </tr> <tr> <td>最大通信距離</td> <td>5m</td> </tr> </tbody> </table>	電源電流	DC5V ± 5%	出力電流	最大 500mA (各ポート / 5 ポート合計)	最大通信距離	5m						
電源電流	DC5V ± 5%													
出力電流	最大 500mA (各ポート / 5 ポート合計)													
最大通信距離	5m													



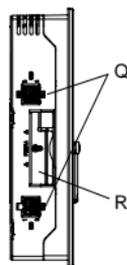
PS-3650A シリーズ 背面図



PS-3651A シリーズ 背面図

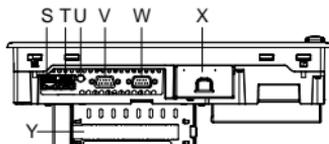


PS-3650A シリーズ 側面図

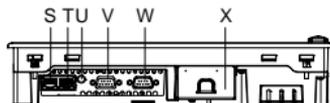


PS-3651A シリーズ 側面図

	名称	説明						
H	電源スイッチ	AC 電源タイプのみ						
I	電源コネクタ	電源ケーブルに、付属の電源プラグを取り付け、接続します。						
J	マスクカバー	-						
K	拡張ボードベース	PS-3650A シリーズのみ						
L	拡張ボードカバー	開けると PCI ボードを取り付けるインターフェイスがあります。PS-3650A シリーズのみ						
M	拡張ボードサポーター	PS-3650A シリーズのみ						
N	ファンユニット	PS-3650A シリーズのみ						
O	メモリスロットカバー	PS-3651A シリーズのみ						
P	DISK カバー	PS-3651A シリーズのみ						
Q	USB インターフェイス (USB)	4 ポート。USB 2.0 対応。コネクタは TYPE-A 使用 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>電源電流</td> <td>DC5V ± 5%</td> </tr> <tr> <td>出力電流</td> <td>最大 500mA</td> </tr> <tr> <td>最大通信距離</td> <td>(各ポート / 5 ポート合計) 5m</td> </tr> </table>	電源電流	DC5V ± 5%	出力電流	最大 500mA	最大通信距離	(各ポート / 5 ポート合計) 5m
電源電流	DC5V ± 5%							
出力電流	最大 500mA							
最大通信距離	(各ポート / 5 ポート合計) 5m							
R	PCMCIA スロットカバー	カバー内にスロットがあります。Type × 1 スロット						



PS-3650A シリーズ 底面図



PS-3651A シリーズ 底面図

	名称	説明
S	イーサネットインターフェイス (LAN2)	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 自動切り替えモジュラージャック (RJ-45) 使用
T	イーサネットインターフェイス (LAN1)	10BASE-T/100BASE-TX 自動切り替えモジュラージャック (RJ-45) 使用
U	スピーカ出力インターフェイス (SPEAKER OUT)	ミニジャックコネクタ
V	RAS インターフェイス (RAS)	RAS ポート搭載タイプ 汎用入力 2ch、汎用出力 2ch。D-Sub 9 ピン (ソケット)
	シリアルインターフェイス (COM2)	シリアル 2 ポートタイプ RS-232C (RI 固定)。D-Sub9 ピン (プラグ)
W	シリアルインターフェイス (COM1)	RS-232C/RS-422/RS-485 切り換え可能 D-Sub9 ピン (プラグ)
X	CF カードカバー	カバー内に CF カードスロットがあります。 Type × 1 スロット、または Type × 1 スロット
Y	拡張スロット	PS-3650A シリーズのみ

重要

- 周辺機器を取り付ける場合は、電源ケーブルを取り外し、必ず PS-A に電源が供給されていないことを確認してから取り付けてください。

一般仕様

電氣的仕様

		AC 電源タイプ	DC 電源タイプ
電源	定格電圧	AC100/240V	DC24V
	電圧許容範囲	AC85 ~ 265V	DC19.2 ~ 28.8V
	定格周波数	50/60Hz	-
	許容瞬時停電時間	1 サイクル以下 (ただし瞬時停電間隔は 1s 以上)	5ms 以内
	消費電力	PS-3650A シリーズ :110VA 以下 PS-3651A シリーズ :95VA 以下	PS-3650A シリーズ :80W 以下 PS-3651A シリーズ :40W 以下
	突入電流	AC100V 時 :30A 以下 (常温) AC240V 時 :50A 以下 (常温)	30A 以下 (常温)
絶縁耐力	AC1,500V 20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)	AC1,000V 20mA 1 分間 (充電部端子と FG 端子間)	
絶縁抵抗	DC500V 10MΩ 以上 (充電部端子と FG 端子間)		

環境仕様

		PS-3650A シリーズ	PS-3651A シリーズ
物理的 環境	使用周囲温度	HDD 非搭載時 :0 ~ 50°C HDD 搭載時 :5 ~ 50°C	HDD 非搭載時 :0 ~ 50°C HDD 搭載時 :5 ~ 45°C
	保存周囲温度	-20 ~ +60°C	
	使用周囲湿度	10 ~ 90%RH (結露のないこと、湿球温度 39°C 以下。ただし HDD 搭載時は 29 以下)	
	保存周囲湿度	10 ~ 90%RH (結露のないこと、湿球温度 39°C 以下)	
	じんあい	0.1mg/m ³ (導電性じんあいのないこと)	
	汚染度	汚染度 2	

重要

- オプション使用時は、オプション品の仕様値も合わせてご確認ください。
- ハードディスクには、寿命があります。万一の故障も考え、定期的なデータのバックアップや交換用ハードディスクユニットの用意をお勧めします。
- ハードディスクの寿命は使用条件や環境により前後しますが、目安として周囲温度 20、通電時間（モータ ON 時間）が 333 時間 / 月（アクセス時間は 20% 以下）で、20,000 時間（通電時間）または 5 年間のいずれか早い到達期限までです。
- ハードディスクを高温・高湿度の環境で使用すると、寿命を縮める原因となります。湿球温度 29 以下での使用を推奨します。この条件は、例えば気温 35 で湿度 64%RH、40 で 44%RH 程度に相当します。
- ハードディスクの寿命を延ばすため非操作時にハードディスクの電源が切れるように設定してください。5 分後を推奨します。Windows[®]XP の場合、[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[電源設定]で設定します。

ディップスイッチ

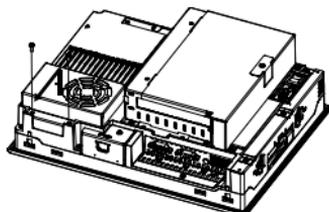
1. 設定を変更するために

スイッチは、本体の基板上にありますので、まずファンユニットまたはメモリスロットカバーを取り外します。

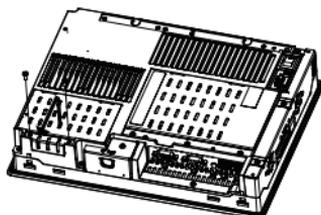
重要

- ネジの取り外し、取り付けにはドライバを使用してください。ネジは強くしめつけすぎると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
 - 本体内へのネジの脱落に注意し作業を行ってください。
- (1) PS-A の電源スイッチを OFF にし、電源ケーブルを取り外します。表示面を下にして水平なところに置きます。

- (2) 下図のネジ (2 箇所) を外し、ファンユニットまたはメモリスロットカバーを取り外します。



PS-3650A シリーズ

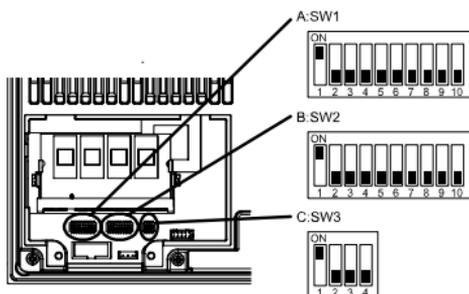


PS-3651A シリーズ

2. ディップスイッチについて

重要

- ディップスイッチの切り替えは、必ず PS-A の電源を切った状態で行ってください。誤作動の原因になります。
- 接続相手のインターフェイス仕様を確認の上、切り替えてください。誤作動の原因になります。



ディップスイッチ配置図

位置	スイッチ名	詳細
A	システム設定スイッチ 1	10 ビットのディップスイッチ スイッチの詳細と出荷時設定は「表 1) システム設定スイッチ 1」をお読みください。
B	シリアルモード選択スイッチ	10 ビットのディップスイッチ COM1 の通信方式にあわせて設定 スイッチの詳細は「表 2) シリアルモード選択スイッチ」をお読みください。
C	システム設定スイッチ 2	4 ビットのディップスイッチ スイッチの詳細と出荷時設定は「表 3) システム設定スイッチ 2」をお読みください。

スイッチ 番号	内容	ON	OFF	備考
1	システムが使用	予約	予約	出荷時設定：ON
2	システムが使用	予約	予約	出荷時設定：OFF
3	リセットスイッチモード 切り替え ¹	パワー ボタン	リセット スイッチ	出荷時設定：OFF
4	リセットスイッチの 無効/有効設定 ¹	無効	有効	出荷時設定：OFF
5	システムが使用	予約	予約	出荷時設定：OFF
6	フロントUSB ポートの 無効/有効を設定。 ²	無効	有効	出荷時設定：OFF
7	システムが使用	予約	予約	出荷時設定：OFF
8	タッチパネル 2点押しキャンセル機能	有効	無効	出荷時設定：OFF ON: 中間地点が動作しない OFF: 中間地点が動作する
9	システムが使用	予約	予約	出荷時設定：OFF
10	COM1 の RI / +5V 切り替え (RS-232C 時のみ有効)	+5V 出力	RI	出荷時設定：OFF

表 1) システム設定スイッチ 1

- ソフト OFF 状態の時に、リセットスイッチを押すと設定内容に関わらず PS-A が起動します。ソフト OFF 状態とは、システムの起動のために必要な回路にのみ電源が供給されている状態のことを指し、Windows® によるシャットダウンを行った後の状態です。Windows® で設定するシステムスタンバイとは異なります。
- フロント USB ポートの有効・無効設定は、Windows® に対応しています。それ以外の OS で使用する場合は、OFF(無効)に設定してください。

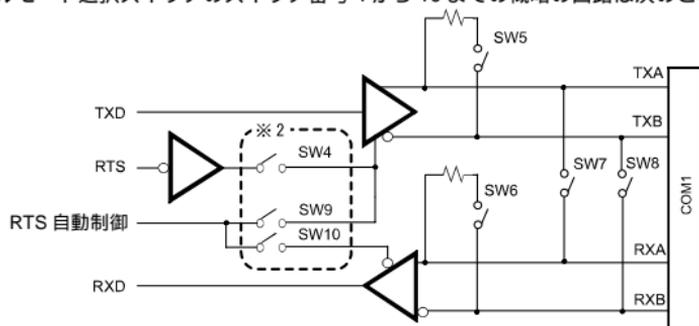
RS-232C が出荷時設定です。スイッチ番号 1 のみが ON です。

スイッチ 番号	内容	ON	OFF	RS-232C	RS-422	RS-485
1	COM1 の通信方式の 切り替え	RS-232C	RS-422/RS-485	ON	OFF	OFF
2	COM1 の通信方式の 切り替え	RS-422/RS-485	RS-232C	OFF	ON	ON
3	COM1 の通信方式の 切り替え	RS-422/RS-485	RS-232C	OFF	ON	ON
4	TX データの出力モード の切り替え	TX データ出力 を RTS 信号に よって制御	TX データ出力 を RTS 信号に よって制御され ず、常に出力	OFF	ON/ OFF	ON/ OFF ¹
5	TX に終端抵抗を挿入 するかどうかの切り 替え	TXA と TXB 間 に終端抵抗 (220)を挿入	終端抵抗なし	OFF	ON	ON/ OFF ²
6	RX に終端抵抗を挿入 するかどうかの切り 替え	RXA と RXB 間 に終端抵抗 (220)を挿入	終端抵抗なし	OFF	ON	ON/ OFF ²

スイッチ番号	内容	ON	OFF	RS-232C	RS-422	RS-485
7	TXA と RXA を短絡するかどうかの切り替え	TXA と RXA を短絡 (RS-485 モード)	短絡しない (RS-422 モード)	OFF	OFF	ON
8	TXB と RXB を短絡するかどうかの切り替え	TXB と RXB を短絡 (RS-485 モード)	短絡しない (RS-422 モード)	OFF	OFF	ON
9	RTS 自動制御モード	RTS 自動制御	RTS 自動制御しない	OFF	OFF	ON/ OFF 1
10	(RS-485 時のみ有効)			OFF	OFF	ON/ OFF 1

表 2) シリアルモード選択スイッチ

シリアルモード選択スイッチのスイッチ番号 4 から 10 までの概略の回路は次のとおりです。



- TX 出力ドライバを RTS 自動制御する場合：
スイッチ番号 9,10 を ON に設定、スイッチ番号 4 は必ず OFF に設定
TX 出力ドライバの制御を RTS 信号で行う場合：
スイッチ番号 9,10 を OFF に設定、スイッチ番号 4 は必ず ON に設定
- 終端抵抗は接続仕様に合わせて設定してください。

スイッチ番号	内容	ON	OFF	備考
1	プライマリ CF カードインターフェイスのマスター/スレーブ設定の切り替え	マスター	スレーブ	出荷時設定：ON
2	システムが使用	予約	予約	出荷時設定：OFF
3	RAS 入力起動設定 ¹	有効	無効	出荷時設定：OFF
4	システムが使用	予約	予約	出荷時設定：OFF

表 3) システム設定スイッチ 2

- ソフト OFF 状態から、RAS インターフェイス DIN1(+) に入力があると PS-A が起動します。
RAS ポート搭載機種のみ

外部インターフェイス

シリアルインターフェイス (COM1、COM2)

PS-A 側は D-Sub9 ピンプラグタイプのコネクタです。

嵌合固定金具	#4-40 (UNC)
--------	-------------

MEMO

- COM2 は、シリアル 2 ポートタイプのみ搭載のインターフェイスです。

重要

- NC は必ず未接続にしてください。
- FG 線はシェルに接続してください。
- PS-A のシリアルポートにはアイソレーション機能はありません。特に接続相手がアイソレーションされていない場合、必ず PS-A の 5 番 (SG) と接続相手側の SG を接続してください。RS-232C/RS-422/RS-485 の回路が故障する恐れがあります。
- FG と SG は本体内部で接続されています。他の機器と接続する場合は、SG の短絡ループが形成されないようシステムを設計してください。

COM1

RS-232C/RS-422/RS-485 の切り替え可能 (工場出荷時設定は、RS-232C)。切り替えは、本体のファンユニットまたはメモリスロットカバーをあげ、基板上にあるディップスイッチで行います。詳しくは、「ディップスイッチ (5 ページ)」をご参照ください。

重要

- 切り替えは必ず PS-A の電源を切った状態で行ってください。誤動作の原因になります。

RS-232C		
ピン番号	信号名	内容
1	CD	キャリア検出

RS-232C		
ピン番号	信号名	内容
2	RD(RXD)	受信データ
3	SD(TXD)	送信データ
4	ER(DTR)	データ端末レディ
5	GND	信号グランド (SG)
6	DR(DSR)	データセットレディ
7	RS(RTS)	送信要求
8	CS(CTS)	送信可
9	CI(RI)/ +5V ₁	被呼表示 /+5V 出力 切替可
Shell	FG	フレームグランド (SG 共通)

1 9 番ピンの「RI/+5V」の切り替えは、本体のファンユニットまたはメモリスロットカバーをあげ、基板上にあるディップスイッチで行います。詳しくは、「ディップスイッチ (5 ページ)」をご参照ください。

RS-422		
ピン番号	信号名	内容
1	RDA	受信データ A(+)
2	RDB	受信データ B(-)
3	SDA	送信データ A(+)
4	NC	未接続
5	GND	信号グランド (SG)
6	NC	未接続
7	SDB	送信データ B(-)
8	NC	未接続
9	NC	未接続
Shell	FG	フレームグランド (SG 共通)

ピン番号	RS-485	
	信号名	内容
1	DATA +	送受信データ (+)
2	DATA -	送受信データ (-)
3	NC	未接続
4	NC	未接続
5	GND	信号グランド (SG)
6	NC	未接続
7	NC	未接続
8	NC	未接続
9	NC	未接続
Shell	FG	フレームグランド (SG 共通)

COM2

ピン番号	RS-232C	
	信号名	内容
1	CD	キャリア検出
2	RD(RXD)	受信データ
3	SD(TXD)	送信データ
4	ER(DTR)	データ端末レディ
5	GND	信号グランド (SG)
6	DR(DSR)	データセットレディ
7	RS(RTS)	送信要求
8	CS(CTS)	送信可
9	CI(RI)	被呼表示
Shell	FG	フレームグランド (SG 共通)

RAS インターフェース (RAS)
PS-A 側は D-Sub9 ピンソケットタイプの
コネクタです。

嵌合固定金具	#4-40 (UNC)
--------	-------------

重要

- 1 番ピン (+12V) の外部電源出力をご使用の場合は、定格電流を守ってご使用ください。誤動作、故障の原因となります。

ピン番号	信号名	内容
1	+12V	出力電流 :100mA 以下 出力電圧 :12V±5%
2	DOUT0(+)	汎用出力 0(+)
3	DOUT1(+)	汎用出力 1(+)
4	DIN0(+)	汎用入力 0(+)
5	DIN1(+)	汎用入力 1(+) ¹
6	GND	グランド
7	DOUT0(-)	汎用出力 0(-)
8	DOUT1(-)	汎用出力 1(-)
9	DINCOM	DIN コモン

- 1 RAS 機能の入力起動または外部リセット入力としても使用できます。出荷時設定では汎用入力です。

MEMO

- 回路図については、「PS-3650A/PS-3651A シリーズハードウェアマニュアル」をご覧ください。

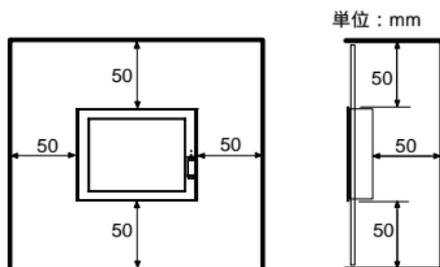
MEMO

- RAS は、RAS ポート搭載タイプのみ搭載のインターフェイスです。

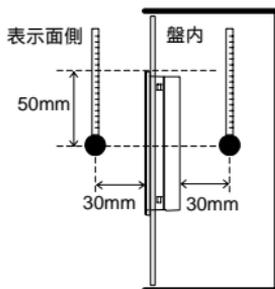
取り付け

1. 取り付け条件

- 保守性、操作性および風通しをよくするため、PS-A と構造物や部品との間は 50mm 以上のスペースを取ってください。



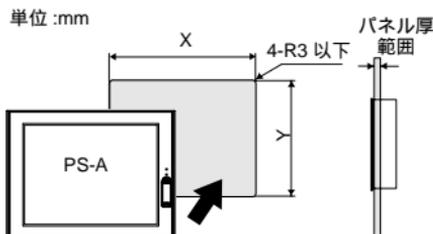
- 故障の原因になりますので、使用周囲温度 0 ~ 50 (HDD 搭載時 : PS-3650A シリーズは 5 ~ 50、PS-3651A シリーズは 5 ~ 45) 使用周囲湿度 10 ~ 90%RH (湿球温度 39°C 以下。HDD 搭載時 : 29 以下) の環境で使用してください。PS-A をケースや構造物に組み込んで使用する場合は盤内、表示面側両方の温度を使用周囲温度としてください。



- 他の機器の発熱で PS-A が過熱しないようにしてください。

2. 本体の取り付け

- パネルカット寸法にしたがって、パネル面に取り付け穴を開けます。また、パネル厚はパネル強度を考慮のうえ、パネル厚範囲に従い決定してください。

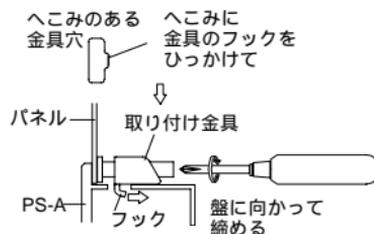
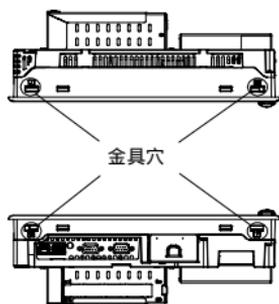


X	Y	パネル厚範囲
301.5^{+1}_{-0}	227.5^{+1}_{-0}	1.6 ~ 10.0

- PS-A に防滴パッキンが装着されていることを確認し、パネル面の正面から PS-A を挿入します。

重要

- 防滴効果を必要としないような環境においても防滴パッキン（本体装着）は、必ず使用してください。防滴パッキンの取り付け方法については、「PS-3650A/PS-3651A シリーズハードウェアマニュアル」を参照してください。
- PS-A の金具穴に取付金具のフックを挿入し、取付金具のネジの後ろをドライバで止めます。へこみのある金具穴に取付金具を挿入する時は、金具穴のへこみ部分に取付金具のフックを確実に挿入してください。金具穴は 4ヶ所あります。



重要

- ネジは強くしめすぎると、PS-A を破損する恐れがあります。
- 防滴効果を得るための適正締め付けトルクは 0.5N・m です。
- 金具穴の正しい位置に取り付けされていないと脱落の恐れがあります。

電源配線



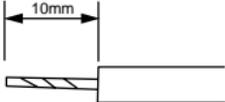
- 感電の恐れがありますので必ず電源が供給されていない状態で接続してください。
- 定格電圧以外を入力しないでください。定格電圧以外を供給すると電源および本体が破損します。
- DC電源タイプには電源スイッチがないため、ブレーカーを取り付けてください。
- FG端子は必ずアースに落としてください。故障したときに感電する恐れがあります。

重要

- FG端子を盤フレームに接続した場合は、ノイズの影響を受けやすくなりますので、必ずD種接地工事を施してください。

電源ケーブル仕様

銅芯線を使用してください。

電源ケーブルの太さ	0.75 ~ 2.5mm ² (18 - 12 AWG)
芯線の状態	単線またはより線 ¹
芯線の長さ	

- 1 より線を使用する場合、芯線のよじりが適切でないと、芯線のヒゲ線同士またはヒゲ線と隣の電極とが短絡する恐れがありますのでご注意ください。

電源配線

電源配線には、以下のフェニックス・コンタクト（株）製のものをご使用ください。

推奨工具	SZS 0.6x3.5 (1205053)
------	-----------------------

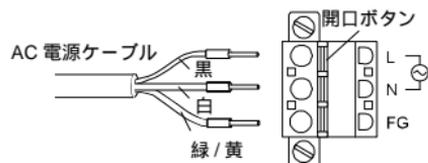
推奨棒端子	AI 0.75-10GY (3201288) AI 1-10RD (3200182) AI 1.5-10BK (3200195) AI 2.5-12BU (3200962)
推奨棒端子用 圧着工具	CRIMPFOX ZA3 (1201882)

MEMO

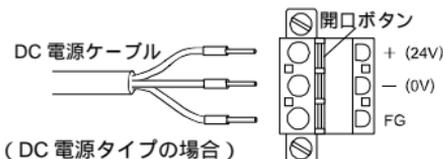
- 付属品の AC 電源タイプの電源プラグは、（株）デジタル製 CA7-ACCNL-01 または、フェニックス・コンタクト（株）製 FK2,5/3-STF-5,08 です。
- 付属品の DC 電源タイプの電源プラグは、（株）デジタル製 CA7-DCCNL-01 または、フェニックス・コンタクト（株）製 GFK2,5/3-STF-7,62 です。

電源ケーブル接続方法

- 通電されていないことを確認します。
- 電源プラグの電線端子挿し込み穴を開きます。穴の横にある開口ボタンをマイナスドライバなどで押すと穴が開きます。
- 対応する電線の棒端子を穴の奥まで差し込みます。開口ボタンを離すと穴が閉まり、固定されます。



(AC電源タイプの場合)



(DC電源タイプの場合)

- (4) 電源プラグを本体の電源コネクタに差し込み、マイナスネジ（2ヶ所）で固定します。

重要

- AC電源タイプでは電線の色を確認の上、正しい位置に挿し込んでください。
- ネジの適正締め付けトルクは0.5 ~ 0.6N・mです。
- ショート防止のため、推奨する絶縁スリーブ付き棒端子をご使用ください。

1. 電源供給時の注意事項

- PS-Aの電源と入出力機器、および動力機器とは、系列を分離して配線してください。
- 電源ケーブルは必ず電源プラグに近いところから、耐ノイズ性向上のためツイスト（より線）で布線してください。
- 主回路（高電圧、大電流）線、入出力信号線、電源ケーブルは、それぞれ束線、接近をしないでください。
- ノイズ対策のため、電源ケーブルはできるだけ短くしてください。
- 電圧変動が規定値以上の場合は定電圧トランスを接続してください。
- 線間や大地間は、ノイズの少ない電源を使用してください。ノイズが多い場合は絶縁トランス（ノイズカットトランス）を接続してください。
- 取り付け導体の温度定格は75のみです。

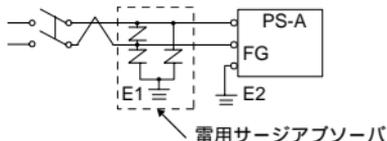
重要

- 定電圧トランス、絶縁トランスの容量は定格値以上のものを使用してください。
- 雷のサージ対策に、雷用サージアブソーバを接続してください。

重要

- 雷サージアブソーバの接続（E1）と本体の接地（E2）とは分離してください。電源電圧最大上昇時でもサージアブソーバの最大許容回路電圧を超えない

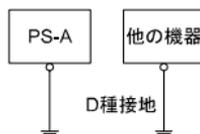
ような雷用サージアブソーバを選択してください。



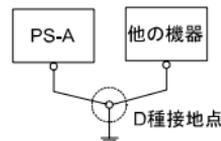
2. 接地時の注意事項

- 電源ケーブルのFGは、専用接地としてください。D種接地とし、接地抵抗100Ω以下になるよう接地工事してください。
- PS-Aは内部でSG（信号グランド）とFG（フレームグランド）が接続されています。接続装置とSGを接続する場合は、短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。
- 2mm²以上の接地用電線を使用してください。接地点は本体の近くで接地線の距離を短くしてください。接地線が長くなる場合は太い絶縁線を通して敷設してください。

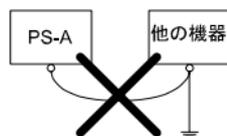
専用接地 最良



共用接地 良



わたり接地 禁止



3. 入出力信号接地時の注意事項

- 入力信号線、および出力信号線は、動力回路のケーブルとは別の配線系統に布線をしてください。
- 動力回路ケーブルを別の配線系統にできないときには、シールドケーブルを使用して、シールド端を接地してください。
- 耐ノイズ性を高めるために、通信ケーブルにフェライトコアを取り付けることをおすすめします。

USB ケーブルの抜け防止に

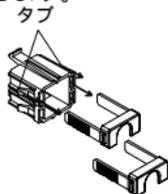
本体側面の USB インターフェイスに USB ホルダーを取り付けることで、接続した USB ケーブルを抜けにすることができます。

MEMO

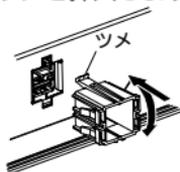
- 本体前面の USB インターフェイスには USB ホルダーを取り付けることはできません。

USB ホルダーの取り付け

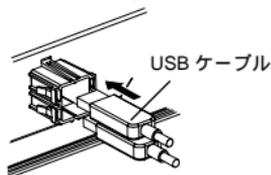
- (1) USB ホルダー側面部のタブを持ち上げて、USB カバーをあらかじめ取り外しておきます。



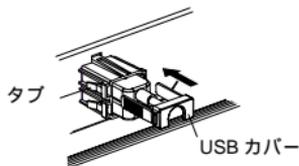
- (2) PS-A 側面の USB インターフェイスに、USB ホルダーを取り付けます。先に USB ホルダー上部のツメを PS-A の取り付け穴に引っ掛けてから、下部のツメを挿入します。



- (3) USB ケーブルを USB インターフェイスに差し込みます。



- (4) USB カバーを USB ホルダーのタブに差し込んで、USB ケーブルを固定します。



2 本目の USB ケーブルを取り付ける際は、手順 (3) ~ (4) と同様にして取り付けてください。

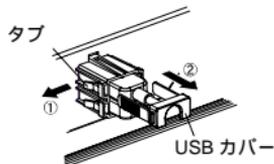
重要

- USB ホルダーを取り付けた場合は、接続する USB ケーブルの本数にかかわらず、必ず USB カバーを 2 つとも取り付けてください。

USB ホルダーの取り外し

取り付けたときと逆の手順で取り外します。

- (1) USB ホルダーのタブを持ち上げて USB カバーを取り外します。



- (2) USB ケーブルを取り外します。
- (3) USB ホルダーの上下を押さえてツメをはずし、PS-A から USB ホルダーを取り外します。

安全規格の認定について

以下の機種は UL/c-UL 製品認定品です。
(UL/c-UL File No.E220851)

型式	UL/c-UL 登録型式
PS3650A-T42	3480801-02
PS3650A-T42S	
PS3651A-T42	3480801-01
PS3651A-T42S	
PS3650A-T42-24V	3480801-12
PS3650A-T42S-24V	
PS3651A-T42-24V	3480801-11
PS3651A-T42S-24V	

規格取得の詳細は (株) デジタルホームページにてご確認ください。

< 注意事項 >

PS-A を組み込んだ機器を UL 申請する際は、以下の事項にご注意ください。

- PS-A の背面部はエンクロージャとして認定されていません。PS-A は機器に組み込み、機器全体として規格に適合するエンクロージャを構成してください。
- PS-A は室内専用機として使用してください。
- PS-A は前面取り付けで使用してください。
- 自然空冷の場合、PS-A は垂直なパネルに取り付けてください。また、背面部周囲の空間は全方向に 50mm 以上開けることを推奨します。温度は PS-A の組み込まれた最終製品で確認しなければなりません。
- タイプ 4X (室内専用) および/またはタイプ 12 エンクロージャの平面上に取り付けてください。
- PS-A 正面に搭載の USB ポートハッチが閉じている時、PS-A の正面部は「タイプ 4X (室内専用) および/またはタイプ 12 エンクロージャとなります。PS-A 正面に搭載の USB ポートハッチが開いている時、PS-A 正面部は「タイプ 1」エンクロージャとなります。

CE マーキングについて

- PS3650A-T42, PS3650A-T42S, PS3651A-T42, PS3651A-T42S は、EMC 指令と低電圧指令に適合した CE マーク製品です。
- PS3650A-T42-24V, PS3650A-T42S-24V, PS3651A-T42-24V, PS3651A-T42S-24V は、EMC 指令に適合した CE マーク製品です。

詳細は、(株) デジタルホームページから CE 宣言書をダウンロードしてご確認ください。

お問い合わせ

本製品でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。弊社サポートサイト「おたすけ Pro!」へアクセスしてください。

<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害その他不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東 8-2-52

TEL : (06) 6613-1101 (代)

FAX : (06) 6613-5888

URL : <http://www.proface.co.jp/>

本書の記載事項はお断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

© Copyright 2009 Digital Electronics Corporation.

All rights reserved.

PFX104903H .PS365XA-MT03J-BTH

2012.3 JM/C